



# 共創

久里小学校学校便り 第30号

令和2年 6月26日(金)発行

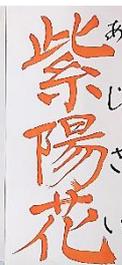
児童数 男子139名女子150名計289名

発行責任者 校長 諸永 成樹

あっという間に6月も終わり、来週半ばには7月に入ります。先日6月14日(日)の授業参観、緊急時保護者引き渡し訓練へのご参会ありがとうございました。今年度初めての授業参観でした。子どもたちと各担任との様子はいかがだったでしょうか?今やっと各学年各クラスが学習面・生活面で軌道に乗り始めたところです。担任も子どもたちも、生き生きと頑張っています。

さて、今週の前半は「梅雨の晴れ間」で熱中症を心配するくらいの暑さでしたが、昨日からは一転、梅雨本番の雨と、蒸し暑さになっています。子どもたちも体調管理が大変です。1学期残り1か月の学校生活を元気で、そして笑顔で送ることができるように、見守り、指導していきます。お子様のことで何かご心配な点がございましたらいつでも遠慮なくご相談ください。

## 「本当の」優しさ・勇気について



今朝の7月全校朝会、校長の話は、私が担任をしていたころの実際にあった話を基に、子どもたちに考えてもらう時間にしました。内容の概略は以下のとおりです。

『梅雨本番になりましたね。この季節によく見かける花と言ったらどんな花ですか?』

「紫陽花ですね。」～(略)～この季節になると必ず思い出す、校長先生が6年生の先生だった時の話をします。静かにしっかりと聞いてください。『ある日帰りの会が始まり、最後に先生の話になりました。話始めて間もなく、一番後ろの席に座っていた男の子が突然前に進んできて、教卓の上にあった紫陽花が入った花瓶をパッととって、自分の席に戻ろうとしました。席に着く直前、その男の子はつまずいてその花瓶の水を隣の列に座っていた女の子にバシャーっとかけて倒れたのです。花瓶の水がかかった女の子は、スカートまでびしょりになりました。その男の子は「ごめんね〇〇ちゃん、濡れたからはやく保健室にいった着替えさせてもらってきて。ほんとにごめん」と言ったのでした。その時は、なぜその男の子が花瓶を取りに来て自分の机まで持っていこうとしたのか分かりませんでした。しかし、保健室に女の子を迎えにいった時、先生は【本当の優しさと勇気】を知ったのです。実は、その女の子は、帰りの会が始まってすぐに失禁していたのです。一番後ろに座っていた男の子は、それに気づき彼女の困り感をなんとか助けようと、機転を利かせて行動したのです。その男の子に尋ねたら、ただ一言「〇〇ちゃんはきっと恥ずかしくていえないと思ったから。」と言うのです。その女の子は気持ちを伝えることが苦手な子どもでした。その女の子の性格をよく知っていた彼は、怒られるのを覚悟で行動したのです。～(略)～

どうですか皆さん。今、校長先生の話聞いてみんなの心はどう感じましたか・・・』

今年度、久里小学校で目指している子どもの姿は、以下の3つです。

- ① 素直で誠実な、温かい心をもっている。
- ② 挑戦しようとする前向きな気持ちがある。
- ③ 仲間と協力し、考えて行動することができる。

心を育てることは、学校だけでできることではありません。各ご家庭には、我が子に求める姿があると思います。学校で指導することと、ご家庭で躰として指導されることが大きく違っていれば、子どもは混乱します。そのようなことがないように、担任とのやり取りを密にさせていただき、疑問があれば直接お伝えください。今後の成長を見据え、「今、お子さんにとって、何が重要か・何が最適か」を軸に、お話をさせていただきたいと思っています。

## 今度は田植え体験

今週、22日（月）。絶好の天気の下、5年生は「田植え体験」をしました。今回も久里「田んぼの名人さん」にお世話になり、土の感触を味わいながらの苗植えでした。大人でも初めての体験はワクワクするもの。最初はぎこちなかった子どもたちですが、御指導を受けながら、何とか完了しました。「土に学ぶ」。今年も貴重な体験をさせていただきました。感謝です。



## 補助犬について学ぶ

6月18日（木）。4年生は、唐津市社会福祉協議会のご協力を得て、補助犬（盲導犬・介助犬・聴導犬）の学習をしました。講師に鍋島敏明さんと盲導犬ヤックルを招き、服従訓練や障害物回避の実際を見て学ぶことができました。人と犬（動物）の「信頼関係」に基づく、その動作・行動に感動するとともに、現在もたくさんの補助犬が様々な困難を抱える人を支えていることを学びました。

